アヴィエスファミリー「お住まい拝見レポート」

暮らしの機能性と家相にも配慮。お母様への思いあふれる家。

次世代の住まい
CASE 29
宮城県仙台市
Sさんの家
取材日／2012年8月

明るい光に満ちたリビング。「冬は日中の日差しの暖かさが夜まで残り、梅雨の時季はじめじめせず、夏は心地よい風が通るんです」とSさんも満足そうに話してくれました。

東京で勤務しながら、1人で暮らすお母様を気遣い、週末のたびに仙台に帰って来ているSさん。ご実家のマンションが昨年の東日本大震災の影響を受け、新たに住まい探しを始めました。「高齢の母が心配だったので、姉夫婦の近くに住むことにしたんです」とSさん。

お姉さまご夫婦がアヴィエスホームで家を建てていたことで薦められ、利府の展示場に出掛けたのが昨年5月のことでした。

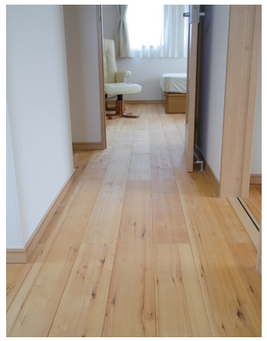
「もみの木の床の良さは話で聞いていたのですが、実際に体験してみると本当にいいなと実感できたんです。ほかの住宅メーカーは全く見ずにすぐ決めました」

それからは忙しい仕事の合間を縫って、週末の打ち合わせが続きました。「あまり時間がない中の初めての家づくりでしたが、スタッフの皆さんが土地探しから手際良く進めてくれました。暮らしやすさを重視した機能性も納得できたし、内装などもイメージしやすいよう丁寧に説明してくれました」と振り返ります。義理のお兄様が家相に詳しく間取りにアドバイスしてくれたことも大きかったとか。今年1月に入居。お母様へのやさしい思いがあふれた家が出来上がりました。

「梅雨時期もじめじめしていないし、いつも空気がいいと感じます。裸足でいるのも気持ち良く、快適。週末に家に帰ってくる楽しみが増えました」とにこやかに話すSさん。もみの木の家で過ごす週末が「また1週間がんばろう」とリフレッシュになっているそうです。

お母様の部屋は動線を考えてリビングの隣に。壁はお母様の好きな緑色をチョイス。断熱性能や消臭機能が高いスピンオフの壁は、50色以上のカラーバリエーションから選べます。

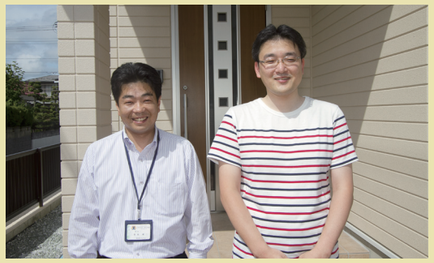
東南角部屋のSさんの寝室。
ベランダには幸運の印(?)、つばめが巣作りを始めました。



1F、2Fともオールもみの木の床。
カナダ産のもみの木には「ミネラルストリーク」と呼ばれる黒い筋や斑点があり、味わいある表情を作り出します。Sさんは始めの頃、素足で歩くと少し痛みを感じたとか。すぐに慣れますが入居したての方からよく聞く話。足のツボを刺激するのでしょうか?

遠赤外線を放射するDGH調理器。余熱調理ができるので家計の節約にも。「火を使わないので高齢の母にも安心」とSさん。

リビングとお母様の部屋の間の2枚の引き戸は引き込み式になっています。大きく開くので動線や風通しも良く、空間を広々と見せることができます。



CASE29:宮城県仙台市 Sさんのお宅
家族構成:ご本人・母　(写真左側は担当スタッフ)
延べ床面積:約34坪　部屋:3LDK
こだわり設備:オールもみの木の床　スピンオフ壁

庭の駐車スペースには、ブロックを噛み合わせるように敷きつめるレンガ風のインターロッキングを配しました。奥には家庭菜園やバーベキューができる庭を作る予定です。

塀は塗り跡を残し、温かみのある雰囲気に仕上げています。インターロッキングはじめエクステリアを手掛けたのは義理のお兄様だそう。

握りやすく、温かみのある手触りの無垢材の手すり。安全性と日々の使いやすさに考慮しながら、インテリアとしても美しい佇まい。

S様のお姉様ご夫婦が9年前に当社でご建築頂いており、昨年の大地震でも建物は何ともなく、お姉様ご夫婦のすすめもあり、当社を選んで頂きました。まずは、住んでいたマンションの売却からはじめましたが、好条件とはいえ、査定から一週間程で買い手がついたのには正直びっくりしました。その後、エリアを限定しての土地探しも、タイミングよく条件にぴったりの土地が売り出され、すぐにS様に見てもらい、決めて頂きました。通常、マンションを売却してのご新築ですと、なかなかスムーズに行かないものですが、今回は全てがトントン拍子でした。これはS様の家づくりのテーマがしっかりされていたことと、日頃のお心掛けが良いからだと思いました。お仕事の都合で、週末にしかお家に戻られませんが、お母様と、のんびりくつろげる空気のきれいな家が出来たと思います。今後とも宜しくお願い致します。

担当より一言

営業
菊地

Sさんが直感で選んだという玄関ドア。
シンプルモダンなデザインがさりげなく個性を放ちます。